

MATERIALITY [2]

戦略的優先課題 [2]

戦略的優先課題(脱炭素)

最も関連するSDGsのターゲット	加山興業のコミットメント	加山興業のコミットメントの解説	活用する数値	59期	60期	69期
 7.2	RPFによる二酸化炭素削減促進プロジェクト	RPF燃料を供給することによって、エンドユーザーの温室効果ガス削減に寄与する。	RPF生産量(t)	14,962(t)	17,057(t)	30,000(t)
	RE100の挑戦	自社の経済活動に伴う電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、あるいは自社社屋に太陽光発電システムを導入して再生可能エネルギー率向上。	再生エネルギーが付帯された電力調達量(kWh) /全体の電力使用量(kWh)	80.5(%) ※2018年度実績	71.9(%) ※2019年度実績	100(%)
	再生エネルギー普及プロジェクト(国内)	他社や個人の経済活動に伴う電力を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えたり、再生可能エネルギー由来の環境価値を提供することによって、再生可能エネルギー由来の電力の普及を促進する。	他社あるいは個人と再生可能エネルギー電力供給した件数	累計145件	累計173件	累計500件
	再生エネルギー普及プロジェクト(海外)	海外(特に新興国)における太陽光発電システムを導入し、現地の電力会社あるいは外資/現地企業が電力を買い取るビジネスモデルを推進する。	事業に関わった発電量ベース(MW)	0(MW)	14MW ※建設中	50(MW) (約37万人分の年間需要量に相当)
 13.2	地球にやさしい選択	スコープ1における二酸化炭素削減に寄与する取り組みを推進する。	スコープ1排出量	11,200(t)	10,819(t)	スコープ1の二酸化炭素排出量のうち2018年比50%削減 ※61期より新焼却炉稼働により目標値変更
		スコープ2における二酸化炭素削減に寄与する取り組みを推進する。	スコープ2排出量	0(t)	0(t)	0(t)
		スコープ3における二酸化炭素削減に寄与する取り組みを推進する。	スコープ3排出量	12,315(t) (参考値)	61期以降固有値計算 随時削減の取り組みを推進	